

なるほど!
わかった!

2019
年度

戸田市のおさいふ

おさいふの
中身を
一緒に見てみよう!



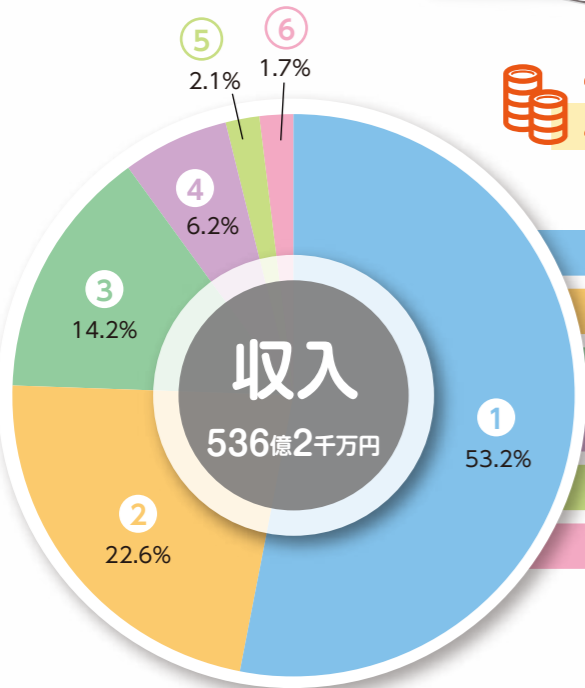
戸市の財政案内人
おさいふくん



おさいふの中身を見よう

(2018年度 普通会計決算)

戸田市の歳入(収入)

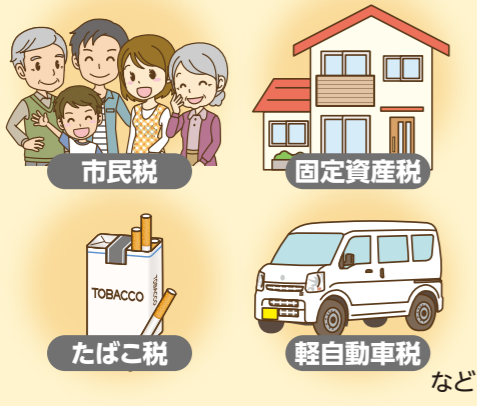


項目	金額
1 市税	285億1千万円
2 国・県支出金	121億3千万円
3 使用料・手数料・交付金など	75億9千万円
4 繰越金	33億2千万円
5 基金などからの繰入金	11億5千万円
6 市債	9億2千万円

PICK UP ①

市税は最も重要な財源

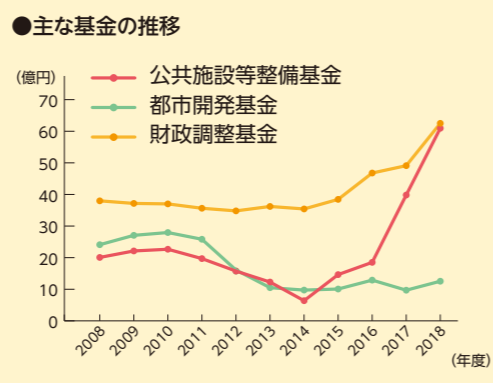
市税は、歳入のおよそ5割を占めています。市の発展のために欠かすことのできない、最も重要な財源です。市税には、次のようなものがあります。



PICK UP ②

安定して事業を行うために基金(貯金)を活用

家計でも貯金があるように、市の貯金にあたるものが「基金」です。基金があることで、継続的に事業を進めることができるほか、突発的な支出や経済状況の悪化等にも対応することができます。

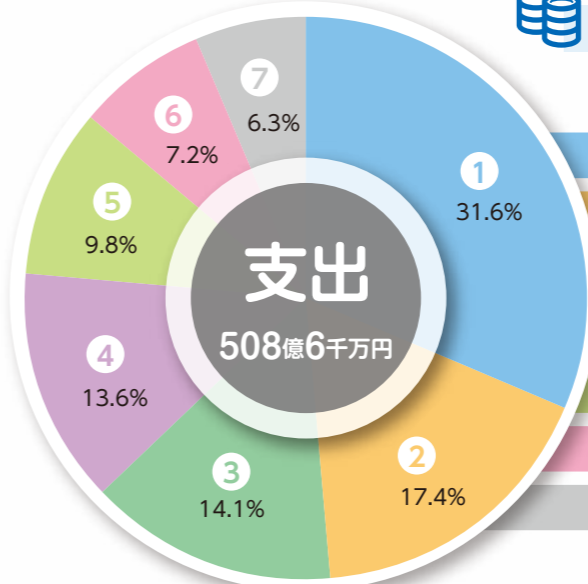


みなさんのご家庭でも家計という「おさいふ」があり、お給料などの「収入」のなかで計画的に食費などの「支出」をやりくりして、生活をしていますよね。

戸田市の「おさいふ」でも同じように、市税などの「歳入(収入)」のなかで、様々な「歳出(支出)」をして、市民生活が滞りなくまわるよう、計画的にやりくりをしています。2018年度の「歳入」と「歳出」を詳しく見てみましょう。

(2018年度 普通会計決算)

戸田市の歳出(支出)



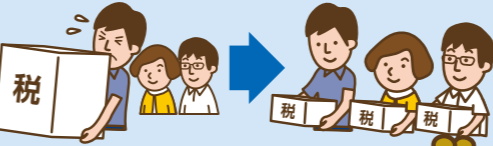
項目	金額
1 扶助費	160億5千万円
2 物件費	88億5千万円
3 人件費	71億8千万円
4 繰入金・補助費など	69億4千万円
5 積立金・貸付金	49億7千万円
6 投資的経費	36億4千万円
7 公債費(借金を返済するお金)	32億3千万円

PICK UP ③

市債の活用と公債費

主に公共施設の整備など、多額の費用がかかる事業を行う際には借金をします。市が借りるお金を「市債」、その返済に充てるお金を「公債費」といいます。

Q. どうして借金をするの?
市民の負担を将来にわたり公平にするため

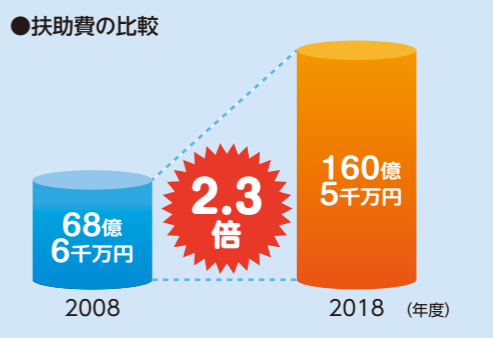


公共施設は長く使うものだから、施設を使う次の世代の市民にも公平に負担してもらおうんだ。

PICK UP ④

扶助費は私たちの生活を支える基礎

歳出の約3割を占める扶助費とは、社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して行う支援のための経費です。近年、扶助費は増加傾向にあり、戸田市では、10年間で約2.3倍に増加しています。



2018年度

決算マップ

税金がどのように使われたか見てみよう



市の事業は
市民のみなさんからお預かりした税金を使って行われています。
2018年度に行われた事業を戸田市の地図を使って見ていきましょう。

子育てから
インフラまで
幅広く事業
を行っているのね



水とみどり

市内にはポートコースがあり、公園が多く水とみどりあふれるまちです。東京に隣接するまちでありながら、市民一人当たりの公園面積は県内平均を上回ります。
現在は、古くなった公園を魅力的で安全な空間へと再整備するため「公園リニューアル計画」の策定を進めており、地域のニーズや特色を活かした公園整備を目指しています。



市内の
色々な場所で
私たちの税金が
使われて
いるんだね



保育園

多くの子どもたちが保育園に通うことができるよう、保育園の施設や体制の整備を行っています。
保育園の運営費は、保護者から支払っていただく保育料の他、国や県、市の負担によってまかなわれています。2019年4月現在、公立保育園と民間保育園、小規模保育施設など合わせて56の認可保育施設があります。



高齢者を支える地域づくり

おもりを手首や足首につけ、地域の方々と一緒に軽い運動を行う「TODA元気体操」の実施や、認知症の方々やそのご家族が情報交換できる「認知症カフェ」の開設・運営支援などを行っています。
みなさんが、健康で生き生きと暮らせるまちを目指しています。



どんなことに いくら かかったのかな?



市の負担 2018年度決算額

市民1人あたり 139,770円で計算
(2019年3月31日現在の人口)

防災

市の負担 約2.3億円

市民1人あたり 1,641円

みなさんの生命や財産を守るため、さまざまな角度から防災対策を実施しています。2018年度からは、市からの防災情報をより確実に伝達し、自助・共助に役立てていただけるよう、防災行政無線の放送内容を受信できる防災ラジオの配付を開始しました。防災行政無線が聞こえにくい建物でも受信でき、直前の放送内容を聞きなおすこともできるため、大変好評をいただいています。



学校教育

市の負担 約33.9億円

市民1人あたり 24,262円

戸田東小・中一貫校の建て替え工事は2021年4月の開校に向け順調に進められています。



また、これまでも進めてきたICT教育をさらに推進するため、2018年度には市内すべての小学校にタブレット型パソコンを拡充するとともに、ロボット教材を導入し、子どもたちの思考力を養うためのプログラミング教育をいっそう充実させています。

経済

市の負担 約3.8億円

市民1人あたり 2,709円

戸田市は、事業者の皆様を応援するとともに、働く女性が活躍できる環境づくり(戸田市版ウーマノミクス)にも力を入れています。女性をはじめ誰もが働きやすい職場環境を広めるため、企業向けの「イクボスセミナー」を実施しました。また、公共工事の入札において、仕事と子育て等の両立支援を行っている企業に加点を取り入れる制度も設けています。



道路河川整備

市の負担 約29.8億円

市民1人あたり 21,298円

誰もが安全に安心して通行できる道路、快適に生活できる河川を整備することも市の役割です。現在、市が力を入れている自転車通行空間の整備は、歩行者・自転車・自動車の通行帯が明確に区分され、交通事故防止につながります。自転車を運転するときには、自転車通行空間を利用しましょう。



スポーツ

市の負担 約4.3億円

市民1人あたり 3,110円

2020年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されますね。市では、「戸田市スポーツ賞」という制度を設け、世界大会や全国大会等で活躍するスポーツ選手を応援しています。また、工事が進められているスポーツセンター屋内プールは2020年4月からオープンする予定です。ぜひ、家族や友達と一緒にご利用ください。



これからの公共施設のありかた

ファシリティ・マネジメントの時代がやってきた



市内には多くの公共施設があるけど、古い建物も多いよね。老朽化した公共施設は、すべて新しく建て替えられるのかしら。



どういふこと？

すべてを建て替えることはできない。莫大なお金がかかるからね。

これからは、公共施設を効果的かつ効率的に維持管理する「**ファシリティ・マネジメント**」の時代なんだよ。



最小の費用で最大の効果を出すために、**さまざまな工夫**が必要なんだ。

例えば…

計画的な修繕や日々の点検を行い、長く使えるようにする

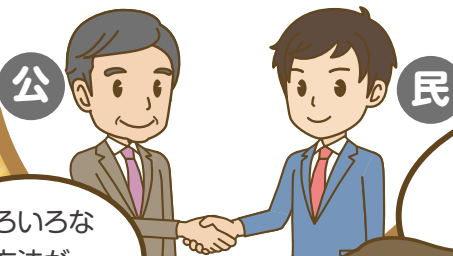
長寿命化



市民参加

民間企業との連携

民間ノウハウや資金を活用して施設を整備・運営する



いろいろな方法があるのね。

限られた予算でやりくりしていくアイデアや工夫が必要なんだなあ。

公共施設の再編にあたっては、計画段階で市民参加を図る



今後も「ファシリティ・マネジメント」の考え方に基づいて公共施設を維持管理していくよ！数十年先の将来を見据えてね！



競艇配分金

戸田市の特色のひとつにボートレースがあります。
ボートレース収益金の一部は競艇配分金として市に配分され、
幅広い分野で市のために使われています。



活用例

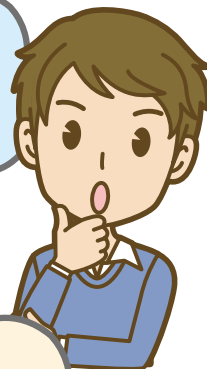
図書館・郷土博物館設備改修

スポーツセンター屋内プール新築

消防車両の整備事業

避難所への非常用発電機整備

私たちの身近な
ところで使われて
いるのか。



競艇配分金を
活用して購入した備品
などには、このような
ステッカーを貼っているんだよ



ボートレースの
売上がもっと増える
といいね!



備品(非常用発電機)にステッカーを貼る
菅原市長と三浦競艇企業団議会議長



今後も、貴重な財源のひとつとして市のために有効に活用していきます。

発行 戸田市役所 財務部 財政課
2019年12月

住所 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1

電話 048-441-1800(内線415・416)

ホームページにアクセスしてね!

戸田市の財政

検索



※冊子内の金額は概数で表記しています。